

大阪読書推進会

2023 第19回

大阪こども本の帯創作コンクール

2023年度 課題図書一覧

低学年(1・2年生)

●カッパーノ
新日本出版社 税込16500円
有田奈央(作)

●さんすうえほん ワニのたまごやさん
小学館 税込16500円
小坂康之(作)

●カッパ
B1出版 税込16500円
森くま堂(作)

●すすめ!かいてんずし
金の星社 税込14300円
真山みな子(作)

●はっぱいコロナ
鈴木出版 税込16500円
中川素子(作)

●バスが来ましたよ
アリス館 税込15400円
由美村嬉々(作)

●すすめ!かいてんずし
ひかりのくに 税込14080円
岡田よしたか(作)

●はっぱいコロナ
アリス館 税込15400円
由美村嬉々(作)

中学年(3・4年生)

●カステラアパートのざらめさん
Gakken 税込15400円
島村木綿子(作)

●ひみつの地下図書館① クモの巣で大さわぎ!
アリス館 税込15400円
いちかわけいこ(作)

●おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー
あすなる書房 税込14300円
仁科幸子(作)

●海をわたる動物園
アリス館 税込15400円
いちかわけいこ(作)

●ぼくらのひみつきち
出版ワークス 税込17600円
といよしひこ(作)

●宇宙食になったサバ缶
小学館 税込16500円
小坂康之(作)

●海をわたる動物園
アリス館 税込15400円
いちかわけいこ(作)

●ぼくらのひみつきち
出版ワークス 税込17600円
といよしひこ(作)

高学年(5・6年生)

●あやしの保健室
①あなたに心くださいまし
小峰書店 税込14300円
染谷果穂(作)

●黄色い星 ユダヤ人を守った国王とデンマークの人たちの物語
カメノン・グラフィティ 税込17600円
B1出版 税込17600円
村上康成(作)

●妖怪一家九十九さん 妖怪一家の時間旅行
理論社 税込14300円
富安陽子(作)

●ぼーちやる
金の星社 税込16500円
次良丸忍(作)

●黄色い竜
徳間書店 税込18700円
村上康成(作)

●手で見えるほくの世界は
くもん出版 税込15400円
櫻崎茜(作)

●あやしの保健室
小峰書店 税込14300円
染谷果穂(作)

●黄色い星 ユダヤ人を守った国王とデンマークの人たちの物語
カメノン・グラフィティ 税込17600円
B1出版 税込17600円
村上康成(作)

●妖怪一家九十九さん 妖怪一家の時間旅行
理論社 税込14300円
富安陽子(作)

課題図書決定

協賛出版社は15社に

読書推進委員会の報告

日頃は、読書推進運動にご協力下さいまして有難うございます。出版社、取次、書店等の業界の皆様と、朝日新聞大阪本社様と協力して、事業を展開してまいります。おかげさまで、「本の帯創作コンクール」と「読書ノート」の2つの事業は、今年で19年目を迎えました。

読書ノート運動は、2004年から始まり、読書ノートを毎年5万冊作製して、大阪府内の申込があった小学校に配布しています。年2回、春と秋に、本を100冊読んだ小学1〜4年生の名前が朝日新聞デジタル版、50冊読んだ5・6年生の名前が朝日新聞大阪版に掲載されます。

各地での運動が広がってききました。堺市や河内長野市に加えて、八尾市や大阪市平野区でも独自に読書ノートを作成され、小学校に配布されています。


「帯コン」の事業は、2005年にスタートして19回目になります。今年の表彰式、展示会場は11月11日(土)、大阪府立中央図書館ライティホールで開催の予定です。毎年、1万以上の応募作品が集まります。昨年の参加校数は309校でした。朝日新聞社の協力で、近年他府県からの応募も増えてきました。全国的な広がりを期待したいと思っています。又、地域版の展示会を大阪府、堺市、茨木市で実施、府下全域版を大阪府立中央図書館でも開催しました。それ以外の地域でも、作品やネルの有効活用をお願いします。

今年「帯コン」の課題図書の販売と陳列コンクールにご協力をお願いします。又、店頭で個人応募の申し込みがあれば、事務局まで連絡して下さい。

書店にとって、読書推進事業は、将来の読者、お客様を育てる、市場を育てる、息の長い事業です。すぐには成果の見えない、長いスパンの事業です。大阪発の読書推進運動を、是非とも安定して継続して行ける様、ご支援をお願い致します。本の販売をお手伝いをして、という社会責任と自負を持って活動していきたいと思っております。ご協力をお願いします。

副理事長
読書推進委員会
委員長 虎谷健司

本年度 本の帯創作コンクール表彰予定賞

賞名	部門	賞名	部門	賞名	部門
大阪府知事賞	高・中・低・自由	金の星社賞	各1点	東京書籍賞	各1点
朝日新聞社賞	高・中・低・自由	くもん出版賞		ベルマーク財団賞	
大阪出版協会賞	高・中・低・自由	小峰書店賞		朝日小学生新聞賞	
大阪国際児童文学振興財団賞	高・中・低・自由	出版ワークス		朝日新聞社地方総局長賞 (地方総局毎に)	
大阪府書店商業組合賞	高・中・低・自由	小学館賞		昨年の大阪府知事賞作品	
各自治体賞 (該当作品のみ)	高・中・低・自由	新日本出版社賞			
課題図書 出版社賞	各1点	鈴木出版賞			
		徳間書店賞			
		BL出版賞			
		ひかりのくに賞			
		ほるぶ出版賞			
		理論社賞			

子どもたちの読書の意義が変わった コロナ禍の3年間

大阪読書推進会総会開催



挨拶する宮川健郎会長

大阪読書推進会は総会を6月21日朝日新聞大阪本社12階アサコムホールにて開催、共催社の朝日新聞大阪本社、大阪出版協会、在阪取次、書店を合わせて19名が出席した。

司会を大阪組合副理事長で大阪読書推進実行副委員長堀博明(堀廣旭堂)が行い、大阪組合副理事長の戸和繁晴大阪読書推進会実行委員長(トワフックス)が開会の挨拶をした。

大阪読書推進会の宮川健郎会長(大阪国際児童文学振興財団理事長)から「私自身も学生時代から子どもの文学を勉強してきた児童文学者です。帯コンは19年ということで、大阪国際児童文学財団の理事長を9年前に引き受けた翌年から読書推進会の会長を引き受けています。

マンネリという議論がありますが、子どもは毎年新しくなっていくので、子どもを上手に借りていくので良いのかなと思っています。マンネリというのは主催者側の気持ちかなと思っています。

「コロナが落ち着いたことで、段階的に生活が戻ってきました。3年のコロナ禍で仕事の仕方や会議の持ち方とか、子どもたちが家で過ごす時間が長かったのです。子どもたちの読書の意義が長かった中で、読書の意義が少し変わってきた。子どもの読書の見直される時間がある。少し落ち着いた帯コンになります。子どもたちの読書のあり方が、周りの大人たちや先生方も含めて、何らか現れるのかということになります。

少し注目して今回臨みます。朝日新聞大阪本社北澤卓也総局長続いて大阪出版協会矢部敬一理事長(創元社)からの挨拶の後、出席者全員自己紹介をした。

事業報告・事業計画・会計報告・収支予算案を執行副委員長虎谷健司(虎谷誠々堂書店)から発表があり、審議承認された。

閉会の辞を日本書籍出版協会岡本功大阪支部長(ひかりのくに)が述べ、無事終了した。